



## 第38回古牧地区防火、防犯、交通安全ポスター表彰式 なくなれ火事・犯罪・交通事故

9月8日(日)に第38回古牧地区防火・防犯・交通安全ポスターの表彰式が開かれました。関係者、来賓ら約120人が参加され8月24日(土)に選考された544点の中から18点が表彰されました。

校長先生の講評、来賓の祝辞のなかで「入選者の子どもたちの防火、防犯、交通安全に対する普段からの高い意識が感じられる」、「関係者のみなさんが子どもたちの健やかな成長と安心、安全な街づくりに真剣に取り組んでいる」などの発言がありました。

これからも、このような気持ちを持ち続けることで住みよい古牧地区の街となるでしょう。

受賞者を代表して、西和田地区の小山明紗さんは『画用紙が配られた時、絵を描く「自分の気持ちを」どのように描いたらよいのかを考えました。遠くからでも見えるようにはっきりした色で大きく見える私たちのポスターで火事、犯罪、交通事故がなくなったらいいな』とあいさつがありました。

また、会場では、古牧地区を担当する「消防団長野第6分団」の活動状況を紹介したDVD



が放映され、5年に1度のポンプ操作大会に出場するため、早朝からの厳しい訓練を行い、



長野市大会準優勝、長野協会3位の成績をおさめたことに感動しました。おめでとうございます。(防犯部)

### 防火・防犯・交通安全ポスター入賞者

学年	防火ポスター	交通安全・防犯ポスター		
小学校 1年生	消防分団長賞	交通安全協会会長賞	川端 夏都	南高田 西澤寿々奈
			小林 夏都	西和田 太田 千秋
			川端 横山 未空	西和田 太田 夕理
2年生	南高田 笠原 隼			
3年生	消防団長賞	防犯協会会長賞	荒屋 池田 充希	西和田 井上 果穂
北条 青木 彩愛			西和田 小山 明紗	
西尾張部 勝山倭香葉			北条 新村 瑛太	
4年生	消防局長賞	警察署長賞	川端 丸山 紗季	西和田 中澤 芽維
東和田 小幡菜々美			五分一 遠藤奈々芭	
上高田 小林 古都			五分一 太田 彰祐	
5年生				
6年生				
中学校 1年生				
2年生				
3年生				

# 古牧地区支え合い活動にご支援、ご協力を

～地域みなさんとともに助け合い支え合い～

古牧地区住民自治協議会では、少子高齢化社会に向けて高齢者や支援が必要な人が住み慣れた地域で生き生き元気で暮らしていくことができるよう、日頃の生活などを支援していくため「古牧地区支え合い活動」を策定しました。

この支え合い活動の策定の経緯は、国では団塊の世代(1947年～1949年生まれ)の皆さんが75歳以上となる2025年を目途に高齢者が人生の最期まで住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けるために必要な支援体制として、「地域包括ケアシステム」(介護・医療・住まい・生活支援・介護予防が一体的に提供される)を構築する事を目指しています。

その中で、介護保険制度の見直しがあり、要支援者1・2の皆さんが利用している通所介護(デイサービス)と訪問介護のサービスが、全国一律の基準に基づく介護保険のサービスから、市の基準に基づく介護予防・生活支援サービス事業に移行しました。

また、国内では、急速に高齢化が進み、団塊の世代の全ての人々が75歳を迎える節目の年の2025年には、医療費、介護費が急増する事が予想され、やがて「1人の若者が1人の高齢者を支える」肩車社会が訪れることが想定されております。

皆さんがお住まいの古牧地区も、高齢化は進んでいきます。このため、高齢者や支援が必要な人が元気な時から介護予防に取り組んでいき、いつまでも元気に生活ができるようにと地域、各区が連携、協力して支え合い活動事業を展開して、高齢の皆さんが自立し、安心して

暮らすためのサポート・生活環境などの整備と充実、地域を活性化し、元気な古牧の地域づくりにより一層努めていくこととしました。

このため、福祉部会では、昨年7月から各区の福祉推進員を中心に民生児童委員、総務部会の代表者、長野市、地域包括センターなどの公的機関の皆さんの協力を得て毎月1回の検討会を重ね、支え合い活動の指針を策定しました。

この指針では、現在、支え合いのために様々な事業が行われておりますが、引き続き、各区の福祉関係の皆さんにお力をお借りするとともに、この活動に地域の皆さんにもご参加いただき、お互いが助け合い、支え合い、誰もが暮らしやすい地域、地区づくりの推進に向けて取り組んでいくこととしました。

古牧地区にお住まい皆さんにも、「古牧地区支え合い活動」にご理解とご協力をいただくため、リーフレットを作成し、各戸に配布させていただきました。

高齢者や支援が必要な人が生き生き暮らしていけることができる古牧地区づくりに積極的にご支援、ご協力をお願いします。



## 古牧地区全戦没者法要 過ち繰り返さず



# 防災の日に防災・避難訓練 一南長池区一

9月1日(日)は防災の日です。この日は全国各地で防災訓練が行われています。

8月31日(土)、南長池区でも防災の日にあわせて防災・避難訓練が開かれました。毎年12月に防災・避難訓練が開かれていますが、従来は地区の役員だけでしたが、子どもたちも参加してほしいとの要望を受けてのものです。

子どもと大人に分かれて防災訓練と避難訓練を実施し子どもたちは消火器での消火訓練を行い、大人は鶴賀消防署東部分署のお話を聞いてから非常ベルの操作をしました。

避難訓練では通報の手順を教わり、公民館2階の煙が充満した部屋の中に入って体感

しました。「何も見えない。怖い!」「本物はもっと見えないよね。体感して良かった!」などの感想が聞かれました。

災害時、水は貴重です。災害時に役立つご飯の炊き方の実演もありました。

実際に起きてはならないことですが、訓練することも大事です。多くの方に参加してほしいと思います。



# 世代交流グラウンド・ゴルフ大会 開かれる

9月14日(土)に古牧小学校校庭で世代交流グラウンド・ゴルフ大会が開かれました。



当初6月8日に予定されていましたが雨天順延になっていたものです。

絶好のスポーツ日和のもと、134名のみなさんが優勝を目指してプレーを楽しみました。

開会式では主催側から、住民自治協議会会長、古牧老人クラブ連合会会長、古牧グラウンド・ゴルフ協会会長があいさつ。始球式、そして校庭一杯に広がりみんな元気にラジオ体操の後、一斉にプレーが始まりました。

鮮やかなブルーの空、燦燦と輝く太陽のもと、みなさん準備したお茶を飲みながら和気あいあいとグラウンド・ゴルフを楽しみま

した。年配のベテランゴルファーから、「もう少しボールの前に立って」「少し足を開いてネ」など、あちこちで子どもたちにやさしくアドバイスするほほえましい大会となりました。

プレーも終り、順位を決める際は、福祉部会のみなさんにより、集計がスムーズに進み、予定通りの時間に表彰式となりました。

宮澤明彦福祉部会長から、来年もお会いしましょうと感謝とお別れのあいさつがあり解散となりました。

## 《成績》

### ●団体の部

1位	平林	山口 徹、山口 敦、井原 達三、長田 陽子
2位	川端	山田 亜子、竹内 正隆、依田 賢、中村 納子
3位	西和田	丸山 倅晴、中澤 由美、中村 和雄、中沢 好子

### ●小中学生の部

1位	白石 大樹	西尾張部
2位	岩本 晃太	川端
3位	小泉 杏菜	平林
4位	山口 徹	平林
5位	伊藤 加音	上高田
6位	小林 侑真	北条

### ●一般男子の部

1位	山岸 義夫	五分一
2位	藤倉 要	五分一
3位	間柄順三郎	川端

### ●一般女子の部

1位	井原 俊恵	西和田
2位	塚田 和子	西尾張部
3位	宮澤 茂子	平林

### ●育成会・公民館の部

1位	曾根原 力	西尾張部
2位	長田 実	川端
3位	山田 英雄	川端

(福祉健康部)

## 学社連携 住民集会

# 生まれてきてくれてありがとう

9月19日(木)に緑ヶ丘小学校で開催された「三者共催講演会」では緑ヶ丘小学校の児童とPTA、地域の方々の合計約520人が参加し、「生まれてきたこと」について学びました。

講演は、看護師を経験され、誕生学アドバイザーである高橋ピン子講師による、「生まれてきてくれてありがとう～誕生・生命・性のこと一緒に考えてみませんか～」でした。

講演では、私たちが生まれるまでの過程を映像や人形・模型を使って分かりやすい説明がありました。また、ドキュメンタリー映像は、長期に渡る不妊治療の末に赤ちゃんを授かったご夫婦の物語を観たときには、「生まれてくれたことが何物にも代えがたい」というご主

人のメッセージが本当に心に響きました。

私たちが、「生まれてくること」自体がとても神秘的で奇跡的なことや、お父さんお母さんたちに大切に育てられてきたことがとても尊いことであるという事を考える良い機会となりました。

最後に高橋講師は、児童や参加者に対して「みんな生まれてきてくれてありがとう」と優しく声をかけて講演を終了しました。

(人権・男女参画部)



## 交通安全住民集会を開きました

年間を通して西尾張部交差点で毎月第一水曜日の朝7時から、住民自治協議会交通安全部と交通安全協会古牧支部共催で「交通安全街頭啓発活動」を、長野中央警察署並びに和田交番の支援を受けながら実施しております。

9月にはこれを拡大して、主要な3カ所の交差点で現地集会と啓発活動を行ないました。

西尾張部交差点会場は9月4日(水)(北条・中村・五分一・西尾張部)、東和田の交差点会場は9月11日(水)(荒屋・平林・JR宿舎・西和田・東和田)、上高田の北交差点会場は9月25日(水)(川端・上高田・南高田・南長池)に実施しました。

このうち9月4日(水)の、西尾張部交差点会場での啓発活動を紹介します。小雨の中、7時に住民集会(会場:長野古牧住宅公園)が始まりました。参加者は該当区の住民(約40名)、そして三陽中学校の生徒さん(約40名)も参加してくれました。役員と警察官を含め総勢約90名となりました。

住民自治協議会会長、長野中央警察署交通第二課長、安全部会長より、ごあいさつ及び最



近の交通状況についてお話しがありました。「交通事故を100%なしにすることは不可能に近いが、近づける事は可能。行政・警察・学校・地域と一体となって、交通事故防止の活動を継続していくことが、とても大切です。痛ましい事故を少しでもなくして、安全・安心の地域づくりを推進しよう」との意識を共有しました。

交通安全部長から「啓発活動の実施方法」説明の後、各持ち場の交差点で、のぼり旗の掲出、歩行者や自転車運転者・自動車運転者へ、啓発資料及びグッズ配布をしました。8時に無事終了・解散となりました。

交通安全部はこのような機会を通して、交通安全意識の高揚・交通死亡事故撲滅を目指して、地道ではありますが交通安全啓発活動を推進して参ります。よろしくお願い申し上げます。  
(交通安全部)

# 楽しかったよ 少年少女スポーツ交流会

少年少女スポーツ交流会が9月8日(日)に古牧小学校で開かれ、『野球大会』と『野球体験』、『わくわくスポーツ教室』を楽しみました。

グラウンドで行われた『野球大会』では3チームがリーグ戦で対戦しました。グラウンドには元気な声が響き渡り、精一杯プレーしている姿が印象的でした。結果は、優勝・古牧キッズ、2位・上高田少年野球、3位・緑ヶ丘少年野球部でした。

『野球体験』では6名の子が参加して1人ひとり監督から指導していただき、ミニゲーム



風の試合を行い、とても楽しめました。

体育館での『わ



くわくスポーツ教室』は76名の子どもたちが集まり、特別講師にNPIC長野体育指導センターの山本彰一先生、宮尾周平先生をお迎えして、走り方のコツを教えていただいたり、運動を交えた様々なゲームをしたり終始笑顔が絶えず楽しく体を動かすことができました。参加者のみなさんからは「専門性の高いものだと参加しづらい事もあるが、体操教室だったので参加しやすくとても楽しかった」と、とても好評でした。学校、学年関係なくスポーツをしながら参加者みんなが楽しめた教室でした。  
(青少年育成部)

## 歴史探索

# ぐるりわがまち

## 南長池

### 「船着き場跡」と「ひむろの木」

当区の事務キチ文具店の交差点に「舟着き場跡」の小さな石碑があります。碑の裏に「ここは昔船着き場がありひむろの大木…」の文が刻まれています。1600年天下分け目の関ヶ原の戦い頃まで裾花川は、旭山の北側より今の県庁付近を東方面に流れ七瀬付近から扇状地を形成しながら東南に広がり屋島方面の千曲川に注いでいました。当時は堤防もなく扇状地内の低地を乱流です。その支流のひとつ



石碑(船着き場) ひむろの木

が、川端～高田～南長池の南側低地を流れていました。これらの

地域では舟を使って荷の運搬と行き来に利用していました。下流域の南長池「舟着き場」

には航行の目印と係留で植えられた「ひむろの木」もありました。

裾花川の流れを大きく変えたのは1603年から1615年にかけて行われた大普請で、県庁西脇より南流させ犀川に合流する工事です。東南扇状地を田畑に変え水害の恐怖からも逃れることでした。その後、人々の生活も舟から陸路中心になり「船着き場」の役目もなくなる中、

古牧郷土史研究会 岡宮 裕



普請前の河川

6面につづく

### 前頁のつづき

「ひむろ」は伐採されることなく400年以上静かに時代の流れを見続けて来ました。

平成9年大きく成長した「ひむろ」も長野須坂インター線道路拡幅のために切られざるを

得なくなり、その時に当区の関係者が後世までここが「船着き場」と「ひむろの大木」があった証とするために石碑を建て現在に至っています。

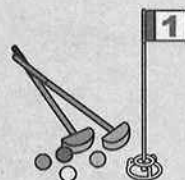
## 10月から11月までの主な行事のお知らせ

(多くの皆様の参加をお待ちしています)

事業名	実施日	場所	実施内容	主催
ふるさとふれあい教室	10月20日	南部小学校	ウォークラリーほか	青少年育成部
ふるさと文化芸能祭	11月3日	古牧公民館 古牧小体育館	作品展示 芸能発表	公民館部
男性の料理教室	11月12日	古牧公民館	体にいい料理を作りながら、仲間づくりをしましょう	ボランティアセンター 244-8159

### 娑婆鉛筆 しやばえんぴつ

## グラウンドゴルフ歴20年



私がグラウンドゴルフを始めたきっかけは、故Mさんのおさそいです。当時、西和田の公民館の役員をやっていました。

ある日、Mさんから「公民館員を集めて班を作り、班長をやって下さい」と言われ、西和田グラウンドゴルフクラブの班を作りました。何年かがたち、Mさんから3級普及指導員の資格取得の話があり「私は1級の普及指導員を持っているから勉強会を開く」と言われ、当時の長野県会長、副会長ら5人ほどで受けました。そしてMさんから「県会長に2級の普及指導員の資格を推薦しました」と言われた時も受けました。

私はMさんに感謝しています。父を早く亡くしたので、父親のように

慕っていました。

また県外大会には私の運転で、古牧のみなさんとマイクロバスで行きました。古牧協会の会長に「くれぐれも安全運転で」と言われ、気を引き締めたものです。長野市協会の会長には何回も便乗させていただきました。元県会長には「1級普及指導員資格に推薦しました。行って下さい」と言われ、考えたすえ取ることにしました。

今、私は西和田グラウンドゴルフクラブの会長です。この2年間は会長代行を1さんをお願いしています。

グラウンドゴルフと出会い、グラウンドゴルフを愛した20年でした。みなさん、グラウンドゴルフをしませんか？

(仁科久雄)



### 古牧地区の世帯数と人口

令和元年9月1日現在

11,469世帯

(男 13,155人

26,671人

女 13,516人)

- 発行所 古牧地区住民自治協議会  
(電話 259-8359・FAX 219-1057)  
(E-mail: komaki@vivid.ocn.ne.jp)
- 発行者 長田 元行
- 編集 ぷらネットこまき編集委員会
- 印刷 SR